

# 津波特定テーマ委員会WG2(海岸保全施設の復旧と設計方針): 「海岸保全施設の効果と被災状況の詳細調査」

## ■調査目的:

第一次報告(5月10日発表)で示した、「2-2 海岸保全施設を一定程度超えて越流した場合にも破壊・倒壊しにくい施設設計」を検討するため、各委員が収集している被災事例や被害軽減事例を整理するとともに、これを補完するものとして各海岸における海岸保全施設のデータを分析する(海岸関係省庁と共同で実施)。

## ■調査対象:

青森県～千葉県

※ 津波による浸水が確認された範囲(国土地理院公表資料より)を対象とし、越流していない海岸、越流しても被災していない海岸も含む。

## ■対象施設:

1) 堤防・護岸、2) 胸壁、3) 陸閘、4) 水門・樋門

## ■收集整理データ:

施設構造諸元、被災状況(被災の延長、部分被災の箇所)、津波外力(推定越流水深)

## ■検討のスケジュール:

6月: 海岸管理者から資料収集・整理、一次分析。

7月以降: 類型化した施設ごとに施設の津波被害軽減効果と破壊メカニズムを分析。これに基づき、粘り強い構造を検討する。